

平成22年度事業報告書

事業の概要

1. 研究助成事業

平成22年度の研究助成は下記4部門を対象として総額900万円の助成を行った。

- ① 痛風・高尿酸血症に関する臨床的色彩の濃い研究を対象とした「鳥居痛風学術賞」
- ② 痛風・高尿酸血症の関する基礎的色彩の濃い研究を対象とした「田辺三菱賞」
- ③ 痛風・高尿酸血症に関する一般的研究を対象とした「研究助成」
- ④ 国内学術誌に発表された痛風・高尿酸血症に関する優秀論文を対象とした「優秀論文賞」

助成申請は「鳥居痛風学術賞」「田辺三菱賞」「研究助成」の3部門は、全国医学系大学82校や関係研究機関などに対して応募要項送付し、また財団ホームページや医学関係新聞雑誌でも公表して平成22年9月1日から10月29日まで応募を受け付けた。又「優秀論文賞」部門は国内学術誌掲載論文の自薦・他薦による申請を受け付けた。この結果平成22年度の部門応募総数は53件であった。

選考は理事長より委嘱された下記8名の選考委員が、応募書類を事前に審査し、その結果を参考として平成22年12月15日に選考委員会が開催され審議された。

平成22年度研究助成選考委員：

赤岡 家雄	帝京大学理事、千代田朋仁クリニック院長
板倉 光夫	徳島大学遺伝情報分野教授
小笠原 信明	愛知県心身障害者コロニー名誉総長
鎌谷 直之	痛風財団理事長、情報解析研究所所長
中村 徹	福井大学名誉教授
波田 壽一	兵庫医科大学学長
細谷 龍男	東京慈恵会医科大学教授
山中 寿	東京女子医科大学教授膠原病リウマチ痛風センター所長

審議の結果、平成22年度研究助成対象者は以下の通り決定した。

- ① 鳥居痛風学術賞 1名 助成金額100万円
内田 俊也（帝京大学医学部内科教授）
研究テーマ：慢性腎臓病（CKD）に合併する高尿酸血症は腎不全進行の危険因子か否かの検討

- ② 田辺三菱賞 1名 助成金額100万円
 JUTABHA Promsuk (杏林大学医学部薬理学教室助教)
 研究テーマ：腎尿細管細胞の尿酸/有機酸トランスポーター
 分子同定と機能解析
- ③ 研究助成 20名 助成総額600万円
1. 安西 尚彦 (杏林大学医学部薬理学教室准教授)
 研究テーマ：ヒト尿酸排出トランスポーターURATv1 トラン
 スジェニックマウスに見られる尿中尿酸排泄
 低下の分子機序の解明
 2. 市田 公美 (東京薬科大学薬学部病態生理学教室教授)
 研究テーマ：血清尿酸値に影響を及ぼす遺伝因子の同定と
 解析
 3. 金井 好克 (大阪大学大学院医学系研究科教授)
 研究テーマ：精製尿酸輸送複合体を組み込んだプロテオリ
 ボソームによる尿酸輸送研究
 4. 森脇 優司 (兵庫医科大学内科教授)
 研究テーマ：ポリフェノールの尿酸代謝に対する影響
 5. 久留 一郎 (鳥取大学大学院医学系研究科教授)
 研究テーマ：コホート研究と基礎研究の融合による高尿酸
 血症と心房細動の合併機序に関する研究
 6. 金子 希代子 (帝京大学薬学部 教授)
 研究テーマ：プリン体分子種による尿酸代謝に影響を与え
 る食品の探索
 7. 松尾 洋孝 (防衛医科大学校分子生体制御学講座講師)
 研究テーマ：痛風の主要病因遺伝子 ABCG2 の臨床遺伝学的
 解析
 8. 山下 浩平 (京都大学医学部附属病院血液・腫瘍内科助教)
 研究テーマ：好中球細胞外トラップに対する尿酸の作用
 9. 山田 裕一 (愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所室長)
 研究テーマ：先天性プリン代謝異常症に関わる2酵素
 (HPRT, PRPPS) の遺伝子解析
 10. 大野 岩男 (東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科教授)
 研究テーマ：ヒトのプリン・ピリミジン代謝研究に関わる国
 際比較
 11. 飯塚 勝美 (岐阜大学医学部附属病院生体支援センター
 講師)
 研究テーマ：グルコース活性化転写因子 ChREBP の機能制御
 に基づく高尿酸血症治療法の開発
 12. 高木 和貴 (福井大学医学部内科学(1)助教)
 研究テーマ：基礎薬理学的作用メカニズムに根ざした新規

抗がん治療レジメンの開発を目的とした、難治性がん患者細胞の薬剤誘導 DNA 障害・蛋白転写阻害の基礎的評価に基づく臨床研究。

- 1 3. 平塚 真弘 (東北大学大学院薬学研究科准教授)
研究テーマ：キサンチンオキシダーゼ遺伝子多型による代謝活性個人差の解明
- 1 4. 山内 高弘 (福井大学医学部内科学(1)講師)
研究テーマ：新規プリンヌクレオシドアナログ、クロファラビンによる治療抵抗性白血病の克服
- 1 5. 荻野 和秀 (鳥取大学医学部附属病院卒後臨床研修センター准教授)
研究テーマ：心不全における利尿薬が尿酸代謝とインスリン抵抗性に及ぼす影響ーフロセミドとスピロラクトンの二重盲検試験ー
- 1 6. 野田 政樹 (東京医科歯科大学難治疾患研究所教授)
研究テーマ：接着転写関連因子 CIZ による新たな痛風発症機序の研究
- 1 7. 細山田 真 (慶応義塾大学薬学部薬物治療学講座准教授)
研究テーマ：利尿剤による排泄低下型高尿酸血症の発症メカニズムの解明
- 1 8. 森山 芳則 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授)
研究テーマ：尿酸排出トランスポーターNPT1 およびNPT4 の SNP 変異体の定量的機能解析
- 1 9. 降幡 知巳 (千葉大学大学院薬学研究院薬物学研究室助教)
研究テーマ：エタノールによるヒト小腸プリン体トランスポーターCNT2 の発現誘導機構およびその尿酸生成における役割の解明
- 2 0. 浅野 知一郎 (広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授)
研究テーマ：キサンチンオキシダーゼ阻害剤による抗動脈硬化作用の分子メカニズム解明

④ 優秀論文賞 2 名 助成金額 1 0 0 万円

- 本郷 実 (信州大学大学院医学系研究科教授)
発表テーマ：一般中学生の高尿酸血症と生活習慣病との関連
- 木村 徹 (杏林大学医学部薬理学教室助教)
発表テーマ：新規尿酸排出トランスポーターURATv1 の尿酸輸送特性の解析

2. 研修会開催・痛風協力医療機関推薦事業

① 第 2 1 回医師対象痛風研修会

全国の医師・薬剤師・栄養士など医療関係者を対象に、今年度で20回目を迎えた痛風研修会を平成22年9月12日（日）に「高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン」をテーマとして東京慈恵会医科大学講堂で開催した。

痛風協力医療機関などへの案内状やインターネット等を通じて聴講者を募り、一般開業医をはじめ医療関係者約200名の参加を得て高尿酸血症の診断及び治療の方法や最新の研究成果についての講義と活発な質疑応答が行われた。研修プログラムと講師は下記の通り。

★第1部 講演

1. 診療ガイドラインとは何か
中山 健夫（京都大学大学院教授）
2. 高尿酸血症・痛風ガイドラインの改定の経緯
山中 寿（東京女子医科大学教授）
3. ガイドライン 高尿酸血症の定義とリスク
箱田 雅之（安田女子大学教授）
4. ガイドライン 痛風関節炎の治療
長瀬 満夫（長瀬クリニック院長）

★ランチョンセミナー

- 尿酸トランスポーター異常症
市田 公美（東京薬科大学教授）

★第2部 講演

1. ガイドライン 高尿酸血症の治療
藤森 新（帝京大学医学部内科教授）
2. ガイドライン 合併症の治療（腎・尿路）
大野 岩男（東京慈恵会医科大学教授）
3. ガイドライン 合併症の治療（メタボ関連）
嶺尾 郁夫（市立豊中病院糖尿病センター長）
4. ガイドライン 生活指導
森脇 優司（兵庫医科大学教授）

★第3部 質疑応答

- 回答者
寺井 千尋 先生（自治医科大学附属さいたま医療センター教授）
金子 希代子 先生（帝京大学薬学部教授）
浜田 紀宏 先生（鳥取大学医学部附属病院第一内科）

尚、平成23年度第22回痛風研修会は9月11日（日）に東京慈恵会医科大学で開催の予定である。

② 痛風協力医療機関推薦

痛風研修会参加の一般医師などに呼びかけ、新たに3機関を推薦した。

この結果、平成23年3月末現在の痛風協力医療機関は全国で合計148機関となった。

新規推薦及び推薦取り消し医療機関は下記の通り。

(A) 新規推薦

1. かわさき内科糖尿病クリニック (河崎 孝弘 先生)
東京都練馬区東大泉 6-47-18 ドクターズポート大泉学園
TEL 03-3517-6688
2. KKR札幌医療センター斗南病院 (天崎 吉晴 先生)
北海道札幌市中央区北1条西6丁目
TEL 011-231-2121
3. 東仙台リウマチ科内科クリニック (泉山 朋政 先生)
宮城県仙台市宮城野区新田東1丁目 17-15
TEL 022-237-5311

(B) 取り消し医療機関

- 井上整形外科 (東京都) 担当医逝去のため
和田整形外科 (長野県) 廃院のため
ひたちの中央クリニック (茨城県) 担当医異動のため
東北労災病院 (宮城県) 担当医異動のため

3. 啓発事業

① インターネットによる啓発

ホームページへのアクセス数は毎年増加しており、今や最も有効な情報伝達手段として定着した感がある。この為、その内容も更に充実すべく適宜更新しながら痛風・高尿酸血症についての知識や診療機関の情報を掲載して一般各位の便宜に供して居る。

② 一般からの質問への対応

一般患者や家族などからのメールや電話での質問も前年以上に連日寄せられた。内容は診療機関の紹介依頼が最も多く、その他は発作時の対処方法や食事に関することなどで、これ等の質問に対しては都度財団関係の医師等に問い合わせその回答内容を伝えている。

③ 市民公開講座協力

平成23年2月19日(土)に東京新宿京王プラザホテルに於

いて、日本痛風・核酸代謝学会や製薬会社と協力して痛風に関する市民公開講座を開催。一般参加者約200名であった。

④ 小冊子及び会報による啓発

小冊子「痛風を発症しないために尿酸値を下げる生活」を発行し、全国の協力医療機関等を通じて一般に配布すると共に、平成22年8月と平成23年1月に会報を発行した。

8月発行の第71号は平成21年度研究助成鳥居痛風学術賞受賞の東京慈恵会医科大学大野岩男教授の「高尿酸血症と腎臓に関する研究」と、同じく田辺三菱賞受賞の防衛医科大学校松尾洋孝講師の「痛風の主要病因遺伝子 ABCG2 の同定」と題する研究の背景やその後の進展状況などに関する一文を掲載し1月の第72号には財団役員各位からの寄稿文を掲載した。

Ⅲ. 財団運営関係

(1) 理事会・評議員会

平成22年度理事会・評議員会は下記の通り開催された。

① 第52回理事会

開催日：平成22年5月25日

会 場：経団連会館

議 案：◇平成21年度事業報告
◇平成21年度決算

② 第22回評議員会

開催日：平成22年5月25日

会 場：経団連会館

議 案：◇平成21年度事業報告
◇平成21年度決算

③ 第53回理事会

開催日：平成23年2月16日

会 場：京王プラザホテル

議 案：◇平成23年度事業計画
◇平成23年度収支計画

④ 第23回評議員会

開催日：平成23年2月16日

会 場：京王プラザホテル

議 案：◇平成23年度事業計画
◇平成23年度収支計画

以上